

《担当者名》石川 正人 (非常勤講師 ishikawa-shinri@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

私たちは、その時々状況や相手によって最も望ましいと考える態度を示し、日々の生活を送っている。しかし、時に、『あの時、このように言えばよかったのに』『あの時、もっとこうしておけば違ったかもしれない』という過去への後悔や未練を感じる事、『今、伝えたいことがあるけれど、結果が怖くてできない』など、現在に葛藤を感じる事、『将来、やってみよう』など、無理かもしれないなど、未来に対して躊躇してしまい、なかなか行動に至らない事、このように過去、現在、未来について、様々な思いを抱えて生活している。このような抱える思いが積み重なると自信を無くしてしまったり、消極的になったり、本来、持っている力を発揮できずに人生が進んでしまうことがある。

モレノ (J. Moreno) によって提唱された『サイコドラマ』では、人々の抱える悩みや問題について、劇 (行動すること) を通じて理解を深め、解決を目指していくことができるようになる。本講義は、サイコドラマ技法を中心に展開する。サイコドラマの理論と技法を学ぶことにより集団心理療法の治療構造、グループプロセス、治療要因など基本的な内容を紹介する。また、サイコドラマ以外の集団心理療法であるソシオメトリー、エンプティチェア、生活技能訓練 (SST) などの技法についても紹介し、心理臨床の諸理論と比較検討する中で、心理臨床的アプローチそのものへの理解を深めていきたい。

特に、知識を深めることの大切さに加え、体験の大切さについても学びたいと考えている学生の受講を期待する。

【学修目標】

- サイコドラマの世界観、技法について理解を深めること
- 自発性、経験、行動の大切さについて理解を深めること

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-------------|--|-------|
| 1 | サイコドラマとは何か | サイコドラマの起源/定義/構成要素 | 石川 正人 |
| 2 | サイコドラマの基礎理論 | 自発性/創造性/役割/余剰現実 | 石川 正人 |
| 3 | サイコドラマの基礎理論 | ソーシャルアトム/ソシオメトリー | 石川 正人 |
| 4 | サイコドラマの技法 | サイコドラマ/ソシオドラマ/ロールプレイング アクションメソッド/プレイバックシアター | 石川 正人 |
| 5 | サイコドラマの基本技法 | ロールリバース | 石川 正人 |
| 6 | サイコドラマの基本技法 | ダブル (二重自我法) とミラー (鏡映法) | 石川 正人 |
| 7 | サイコドラマの基本技法 | エンプティチェア | 石川 正人 |
| 8 | サイコドラマの基本技法 | 未来投影 | 石川 正人 |
| 9 | サイコドラマの基本技法 | マジックショップ | 石川 正人 |
| 10 | 集団精神療法の治療要因 | ヤーロムの12因子 | 石川 正人 |
| 11 | 集団精神療法の技法 | サイコドラマの体験 (主役) | 石川 正人 |
| 12 | サイコドラマ演習 | サイコドラマの体験 (ディレクター) | 石川 正人 |
| 13 | サイコドラマ演習 | サイコドラマの体験 (補助自我) | 石川 正人 |
| 14 | サイコドラマ演習 | サイコドラマの体験 (ダブル) | 石川 正人 |
| 15 | サイコドラマ演習 | サイコドラマの体験 (ミラー) | 石川 正人 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部 (研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への取り組み態度、Googleフォームによる質問紙課題により評価を行う。

質問紙課題 (70%)、授業への取り組み態度 (30%) で評価する。

【教科書】

心理劇入門 日本心理劇学会監修 慶應義塾大学出版会

【参考書】

サイコドラマの理論と実践 磯田雄二郎 誠信書房

【備考】

講義は、体験しながらの学びを多く含む。受講者は動きやすい服装で参加することを推奨する。

【学修の準備】

講義に関する領域について、教科書の予習（60分）、復習として、学んだことの整理しておく（60分）ことを推奨する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. 社会の様々な分野において、心の問題を評価し、それを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得している。

DP1. 心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、キャリアコンサルタント、ストレスチェック制度実施者、DCFA認定しごとモチベーター

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院・診療所、公立学校でのスクールカウンセリング、私設心理事務所でのカウンセリング、自治体の乳幼児検診、大学・看護学校での教育実践など医療、教育、福祉、産業を中心とした心理臨床実践の経験をもとに、精神保健の保持増進、予防啓蒙活動を意識した教育活動を展開している。